

園芸市場情報

平成27年2月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407 FAX：03-5492-5407

2月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年並か！

やっちゃば閑話 「花の消費拡大に向け、産地からの提案を進めよう」 P11

首都圏掲示板 P12

〈今月の2枚〉 ＊ 盛り上がる花きのPR活動 ＊

花き振興法の制定や東京オリンピックの開催決定などの追い風を背景に、各地で花きの販売促進に向けたPR活動が盛んに行われています。

東京都中央卸売市場大田市場では、仏花のイメージの強いスターチス、スプレー、マムで新たな用途を開拓するための「スターチスのブライダルアレンジコンテスト」や「スプレーマムのアレンジメント提案」が行われ、多くの買参人の注目を浴びていました。



写真上 スターチスを使ったブライダル向け
アレンジコンテスト

写真右 スプレーマムを使ったアレンジ提案



C O N T E N T S (目次)

I 青果情報

- 01 1月(中旬まで)の経過
- 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
- 04 2月の見通し
- 05 品目別生産出荷概況
特集「冬レタス」
- 06 だいこん、にんじん
- 07 キャベツ類、ほうれんそう
- 08 ねぎ、きゅうり

II 花き情報

- 09 1月の経過(販売経過、入荷量と単価の経過、品目別経過)
2月の見通し(ストック、トルコギキョウ、バラ)

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 10 12月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 11 「花の消費拡大に向け、産地からの提案を進めよう」

V 首都圏掲示板

- 12 「産地集合！千葉県産さつまいも合同試食宣伝会開催」
「大田市場初！アテモヤ試食会」
「平成26年度『ちばの花』市場展示会開催」

用語解説

園芸市場 情報に 使用する 主な用語 解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の 幅を 示す 用語	平年並	: ± 2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 1月（中旬）までの経過

野菜類

気 象	<p>1 月上旬中旬の気象データでは、平均気温は関東以北及び九州では平年より高かったが、その他の地域では平年より低かった。</p> <p>降水量は南西諸島及び北日本の一部で平年より少なかったが、それ以外の多くの地域で平年より多かった。日照時間は日本海沿岸の一部で平年より大幅に少なかったが、多くの地域は平年並から平年より多かった。</p>
入荷量	<p>関東産、西南暖地産を中心に入荷した。</p> <p>生育良好な「にんじん」等で前年を上回った一方で、前年が多かった「はくさい」等の品目は前年を下回った。</p> <p>結果として、入荷量は1月上旬中旬で74,329t（前年比99.3%）と前年並だった。</p>
相 場	<p>潤沢な入荷が続いている「にんじん」が前年を大幅に下回ったが、秋の台風や12月の低温の影響で入荷が不安定となった多くの品目で前年を上回った。</p> <p>結果として、価格は1月上旬中旬計で267円/kg（前年比106.9%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回った。</p> <p>豊作の「りんご類」や前年が少なかった「いちご類」など、多くの品目で前年を上回ったが、カリフォルニアの干ばつや港湾ストライキの影響で輸入果実は少なかった。</p> <p>結果として、入荷量は1月上旬中旬計で、22,526 t（前年比105.3%）と前年よりやや多くなった。</p>
相 場	<p>食味が評価され販売好調の「みかん類」や入荷量が少ない輸入果実は前年を上回った一方で、前年が高値だった「りんご類」等は前年を下回った。</p> <p>結果として、1月上旬中旬計で416円/kg（前年比108.9%）と前年よりかなり高値となった。</p>

東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格

(単位:t、%、円/kg)

平成26年12月下旬～平成27年1月上中旬

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年9日		開市日数		本年5日・前年5日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年12日・前年12日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	—	43,647	96.8	290	100.5	34,258	104.6	300	110.1	40,071	95.1	238	102.8	74,329	99.3	267	106.9
だいこん	市場計	5,059	101.3	75	81.1	4,261	108.2	87	96.9	3,949	91.8	73	101.9	8,210	99.7	81	99.9
	千葉	2,408	120.7	69	78.7	2,074	122.2	85	93.5	1,660	98.3	68	94.9	3,734	110.3	77	95.3
にんじん	市場計	3,271	110.2	107	61.2	1,824	118.7	90	56.5	2,553	108.8	77	53.6	4,377	112.7	82	55.0
	千葉	2,762	115.8	99	60.0	1,641	124.9	91	55.6	2,194	117.3	78	52.7	3,835	120.4	83	54.1
はくさい	市場計	4,896	90.4	38	48.9	3,676	94.7	42	60.2	4,264	81.4	35	55.8	7,941	87.0	38	58.1
	千葉	4	189.5	68	132.4	4	1042.3	55	82.5	3	406.0	56	50.9	7	619.0	56	58.0
キャベツ類	市場計	3,878	91.2	94	61.5	3,487	102.0	124	83.4	4,196	97.2	117	87.3	7,683	99.3	120	85.5
	千葉	1,201	87.1	95	65.0	913	73.7	123	85.7	609	65.6	116	86.7	1,522	70.3	120	86.3
ほうれんそう	市場計	500	97.8	656	108.2	404	100.4	762	131.1	525	103.6	555	104.2	928	102.2	645	116.4
	千葉	74	83.1	583	117.9	64	91.3	652	140.9	87	100.5	470	104.7	151	96.4	546	120.2
ねぎ	市場計	2,293	101.8	279	93.8	1,602	107.1	285	91.0	1,799	89.8	209	87.1	3,402	97.2	245	90.3
	千葉	656	115.4	307	93.7	499	107.8	298	87.8	585	94.5	231	87.4	1,083	100.2	262	88.3
レタス類	市場計	2,393	93.8	389	106.9	2,355	111.1	413	125.3	2,154	96.5	285	105.8	4,509	103.6	352	117.8
	千葉	199	132.8	393	103.1	189	115.4	450	144.3	140	102.2	290	110.1	329	109.4	382	131.8
きゅうり	市場計	1,272	89.8	601	122.8	1,643	98.8	457	125.1	1,583	100.8	412	108.6	3,226	99.7	435	116.8
	千葉	317	120.1	570	118.4	333	98.4	420	120.8	287	107.1	414	111.9	620	102.2	417	116.7
なす	市場計	318	85.2	649	128.4	502	91.6	486	123.4	477	85.7	430	111.2	979	88.6	459	117.5
	千葉	3	164.2	684	104.6	3	125.3	608	110.9	3	110.7	557	106.0	6	118.3	585	108.9
トマト	市場計	1,597	105.6	421	92.3	1,853	108.6	366	100.3	1,529	92.5	375	107.9	3,382	100.6	371	103.8
	千葉	123	173.7	381	87.8	124	175.8	336	89.0	72	118.8	351	97.5	196	149.4	342	92.4
ピーマン	市場計	411	89.5	624	127.6	412	103.3	703	132.5	498	105.0	626	93.8	910	104.2	661	109.2
	千葉	2	183.1	714	138.4	1	110.0	689	154.5	1	56.0	744	112.5	2	73.2	718	121.0
さといも	市場計	787	102.5	318	110.6	125	105.6	323	107.6	206	85.1	310	107.0	332	91.8	315	107.5
	千葉	183	114.3	263	94.1	42	95.8	292	103.3	46	74.8	296	104.5	88	83.6	294	103.9
ばれいしょ類	市場計	2,623	108.0	97	86.5	1,915	120.3	103	91.2	3,123	94.6	103	93.5	5,038	103.0	103	92.8
	千葉	0	106.7	298	129.2	0	350.0	225	97.5	0	216.4	181	66.4	0	252.0	198	75.5
たまねぎ	市場計	3,078	109.4	89	67.3	2,021	106.9	92	68.8	3,576	115.7	98	71.8	5,598	112.4	96	70.7
生しいたけ	市場計	287	88.5	1,356	114.2	245	101.9	1,232	114.9	209	92.5	1,084	108.0	454	97.4	1,164	112.0
かぼちゃ	市場計	596	86.3	296	142.0	471	99.2	261	154.6	743	82.0	234	136.5	1,213	87.9	245	143.3
さやえんどう	市場計	41	84.6	1,445	128.5	42	117.6	1,010	107.1	50	100.9	941	114.3	92	107.9	973	111.3
かんしょ	市場計	1,093	97.5	237	123.7	702	114.3	233	124.0	1,212	100.8	214	122.9	1,914	105.3	221	123.6
	千葉	443	81.3	200	139.9	331	106.4	221	132.4	637	94.2	197	129.3	968	98.0	205	130.8
かぶ	市場計	514	95.6	148	95.1	378	100.6	206	113.8	443	92.0	163	110.7	821	95.8	183	112.8
	千葉	426	99.0	152	94.6	334	101.1	210	113.3	367	91.8	165	110.3	701	96.0	187	112.4
ごぼう	市場計	553	104.1	278	84.0	174	106.7	283	81.0	255	93.2	288	83.2	429	98.2	286	82.3
	千葉	5	69.2	160	80.1	0	120.7	404	71.5	1	151.4	594	103.2	1	140.9	539	94.1
こまつ菜	市場計	381	83.2	597	150.7	271	90.2	668	176.8	277	95.2	478	121.6	547	92.6	572	148.4
	千葉	24	72.2	554	134.5	18	79.0	635	145.1	16	101.5	436	109.2	35	88.2	542	128.4
こねぎ	市場計	112	83.3	1,276	127.5	108	111.6	1,478	142.8	114	94.0	1,256	142.5	223	101.8	1,364	143.6
わけぎ	市場計	8	93.7	904	119.5	6	113.8	1,068	134.4	6	90.4	956	123.5	12	100.3	1,010	129.0
糸みつば	市場計	111	87.7	1,730	123.7	69	108.2	1,275	124.2	47	102.2	498	100.8	116	105.7	962	119.5
しゅんぎく	市場計	120	83.5	1,352	134.0	126	93.4	1,140	125.8	112	95.9	634	111.7	237	94.6	902	120.4
	千葉	48	84.0	1,326	134.0	51	103.0	1,075	127.7	45	92.2	606	110.9	96	97.6	855	123.0
にら	市場計	221	90.6	1,104	156.3	176	95.3	1,208	149.4	255	96.9	956	123.5	431	96.2	1,059	134.3
セルリー	市場計	293	83.8	264	123.7	233	98.8	320	147.4	259	80.8	279	127.2	492	88.4	299	136.7

品目	産地	12月下旬				1月上旬				1月中旬				1月上中旬計			
		開市日数		本年8日・前年9日		開市日数		本年5日・前年5日		開市日数		本年7日・前年7日		開市日数		本年12日・前年12日	
		入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
カリフラワー	市場計	99	85.2	365	127.0	94	103.4	267	111.5	119	119.7	221	98.5	213	112.0	241	104.2
ブロッコリー	市場計	635	86.0	454	126.3	594	93.8	455	140.7	696	94.0	433	118.5	1,289	93.9	443	128.1
サラダ菜	市場計	35	94.7	858	105.8	30	109.0	880	110.0	28	92.0	712	111.9	58	100.0	798	111.9
	千葉	13	90.9	826	107.6	10	106.9	777	106.3	10	82.8	604	106.7	21	93.3	691	108.2
パセリ	市場計	42	85.7	1,855	101.9	20	101.6	1,832	159.6	19	93.2	1,212	135.4	39	97.3	1,528	150.0
	千葉	28	78.9	1,750	96.4	11	85.6	1,717	173.9	10	81.5	1,152	159.5	21	83.5	1,438	168.6
チンゲンサイ	市場計	104	85.3	384	125.5	106	103.8	414	129.5	132	101.3	345	103.7	238	102.4	376	114.9
エンダイブ	市場計	9	107.6	644	98.4	4	85.6	724	110.7	5	82.6	601	105.5	9	83.8	653	108.1
ミニトマト	市場計	498	93.8	649	99.1	532	89.1	632	112.8	424	83.9	708	129.7	956	86.7	666	120.2
	千葉	41	108.2	703	91.4	44	91.3	689	104.9	31	79.8	789	126.1	75	86.2	731	113.6
とうもろこし	市場計	1	170.4	231	59.4	0	153.3	537	215.1	2	1686.7	562	236.9	2	666.0	558	227.3
いんげん	市場計	86	105.1	978	111.8	100	141.1	857	87.8	95	104.8	871	99.4	195	120.7	864	93.9
そらまめ	市場計	25	160.6	722	70.3	22	156.6	731	80.9	37	136.9	682	97.2	59	143.7	700	90.8
えだまめ	市場計	5	133.1	1,706	99.5	1	41.8	1,845	163.9	2	148.8	1,779	90.2	3	86.0	1,798	121.8
やまといも	市場計	85	89.6	637	107.4	35	103.8	656	112.5	49	95.4	629	111.4	84	98.8	641	111.9
	千葉	52	84.5	619	106.2	20	96.0	649	114.4	32	94.8	628	112.4	52	95.3	636	113.2
根しようが	市場計	134	88.7	575	133.1	85	101.7	576	127.2	104	107.4	590	118.4	189	104.8	584	122.3
マッシュルーム	市場計	43	100.9	1,078	109.6	33	115.7	1,047	111.5	39	117.0	980	106.7	72	116.4	1,011	108.9
外国産	—	1,288	74.9	365	129.2	977	83.9	321	128.4	1,263	71.8	295	132.3	2,240	76.6	306	131.1
果実総量	—	20,173	93.8	397	109.5	9,700	110.1	457	104.8	12,826	101.9	385	111.9	22,526	105.3	416	108.9
みかん類	市場計	13,550	90.3	251	99.8	4,529	109.2	257	115.1	5,471	98.9	247	122.4	10,001	103.3	252	119.2
(極早生みかん)	市場計	3	243.1	170	80.1	1	13714.3	155	38.2	2	10.4	139	80.3	2	16.9	145	83.7
(早生みかん)	市場計	1,895	57.7	243	101.5	404	82.1	262	110.2	454	92.5	310	128.8	858	87.3	287	120.2
かんきつ類	市場計	1,048	101.5	393	107.9	1,013	103.2	331	113.5	2,191	98.6	325	106.3	3,204	100.0	327	108.5
りんご類	市場計	2,184	117.3	285	94.1	1,403	129.2	270	90.9	2,238	115.9	278	94.3	3,641	120.7	275	93.0
(ふじ)	市場計	1,760	121.0	276	93.8	1,172	133.2	268	90.0	1,825	116.8	270	91.1	2,997	122.7	269	90.6
いちご類	市場計	945	113.0	2,286	107.7	1,267	108.1	1,481	98.2	1,181	114.4	1,279	101.6	2,448	111.1	1,383	99.4
(とちおとめ)	市場計	488	105.9	2,296	112.1	549	94.8	1,306	99.6	577	112.7	1,148	103.3	1,126	103.2	1,225	100.6
(あまおう)	市場計	190	129.0	2,296	101.0	304	120.0	1,803	94.2	233	115.6	1,619	98.6	537	118.1	1,723	96.1
メロン類	市場計	243	88.5	1,089	120.5	109	85.4	1,116	119.4	128	103.5	994	113.6	237	94.3	1,050	116.0
	千葉	4	83.8	1,094	89.5	3	98.8	1,016	91.1	3	90.0	1,047	96.5	7	94.1	1,032	93.8
(アールスメロン)	市場計	175	89.8	1,282	119.8	78	101.1	1,310	109.8	77	102.9	1,283	115.0	155	102.0	1,297	112.3
	千葉	4	84.0	1,094	89.4	3	98.8	1,016	91.1	3	90.0	1,047	96.5	7	94.1	1,032	93.8
外国産	—	1,183	78.6	238	133.4	1,077	97.5	220	121.4	1,136	89.7	223	118.6	2,213	93.3	222	119.8

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。 —は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料：東京青果物情報センター速報

2 2月の見通し

野菜類

関東と九州・四国の西南暖地が中心産地となります。

1 2月からの冷え込みで、葉物等で生育が遅れていましたが、1月に気温の高い日があり、回復傾向にあります。一方で、「にんじん」は生育順調で潤沢な入荷が続いており、全体の入荷量は前年を上回る見込みです。

価格は、1月に各産地から入荷が集中して下落した「ねぎ」や入荷量が多い「にんじん」等で前年を下回る一方で、「キャベツ類」「レタス類」等で前年を上回り、全体では前年並の見込みです。

果実類

「みかん類」「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」を中心に出回ります。

入荷量は、「みかん類」は多かった前年を下回るものの平年並、着色や酸抜けが遅れている「かんきつ類」は前年を下回り、豊作の「りんご類」は前年を上回る見込みで、全体では前年を下回る見込みです。

価格は、「かんきつ類」はアメリカでのストライキの影響で輸入品が品薄なこととあわせて高値となり、品質の良い「りんご類」も前年を上回る見込みで、全体では前年を上回る見込みです。

東京都中央卸売市場における2月の見通し

()は単位

品目	入 荷 量				単 価				千葉県産実績	
	見込み (t)	前年実績 (t)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (t)	見込み (円/kg)	前年実績 (円/kg)	前年比 (%)	5ヶ年平均 (円/kg)	前年入荷量 (t)	前年占有率 (%)
だいこん	12,700	12,056	105.3	11,705	90	89	101.1	99	3,435	28.5
にんじん	7,300	6,040	120.9	6,530	80	154	51.9	130	4,068	67.4
キャベツ類	13,800	13,836	99.7	13,994	125	113	110.6	121	2,862	20.7
ほうれんそう	1,600	1,476	108.4	1,674	420	483	87.0	434	293	19.9
ねぎ	4,470	4,224	105.8	4,466	250	363	68.9	304	1,821	43.1
レタス類	6,950	7,098	97.9	6,528	235	216	108.8	276	537	7.6
きゅうり	4,500	4,496	100.1	4,764	380	370	102.7	369	863	19.2
トマト	5,100	4,982	102.4	4,846	370	383	96.6	424	182	3.7
みかん類	11,600	12,047	96.3	10,785	250	241	103.7	248	0	0.0
いよかん	2,700	3,211	84.1	3,825	210	163	128.8	180	0	0.0
りんご(ふじ)	6,400	5,755	111.2	5,285	290	291	99.7	265	0	0.0
いちご類	4,300	4,192	102.6	4,200	1,250	1,233	101.4	1,181	67	1.6

※5ヶ年平均については、小数点以下を四捨五入しています。

前年比10%以上

前年比10%以下

3 品目別生産出荷概況

冬レタス

主要産地のレタス類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	26年2月入荷量	26年2月シェア率
静岡	2,322 t	32.7 %
香川	830 t	11.7 %
茨城	695 t	9.8 %
千葉	537 t	7.6 %

2月入荷予測	6,950t(前年比97.9%、平年比106.5%)
2月価格予測	235円(前年比108.8%、平年比85.1%)
2月市況予測	上旬：↘ (弱保合) 中旬：↘ (弱保合) 下旬：↘ (弱保合)

今後の競合産地の動向は？

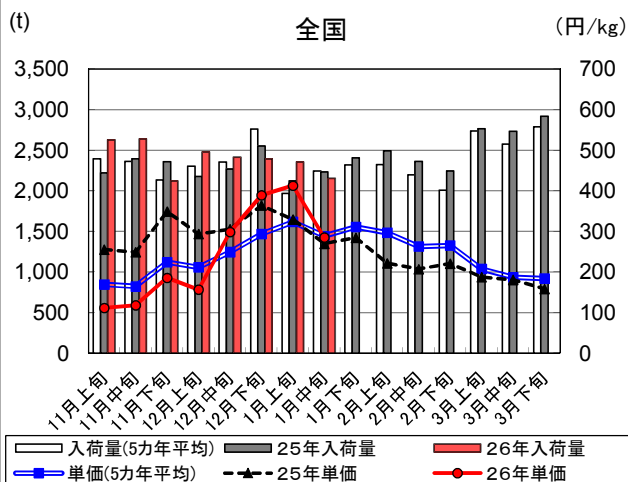
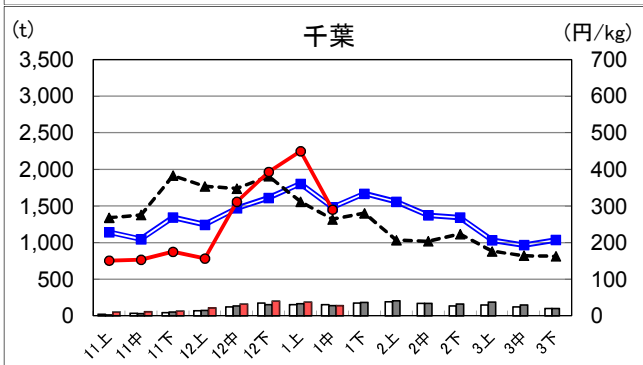
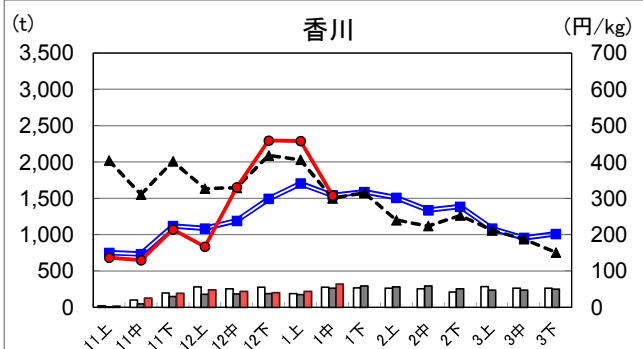
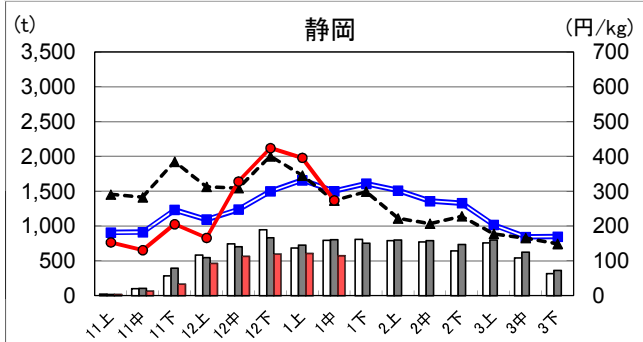
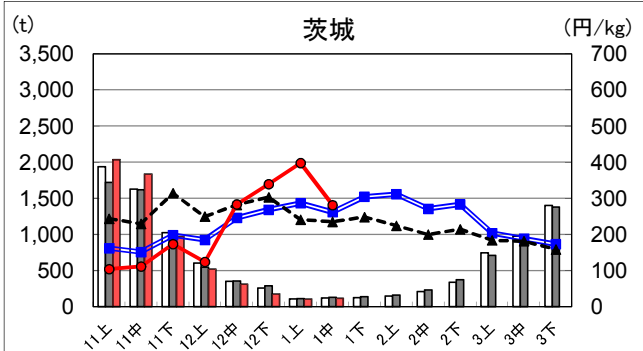
11月から3月に入荷するレタスは「冬レタス」に区分され、東京都中央卸売市場における中心産地は、12月上旬までが茨城県、それ以降は静岡県となります。この他に香川県、兵庫県等から入荷します。

本年は、12月からの低温の影響により各産地で生育が遅れていましたが、気温が緩んだことで回復傾向となっています。

静岡県産は秋の台風や低温の影響で出荷量が少なくなりましたが、生育回復により2月中旬以降に増量し、2月合計では前年並の見込みです。

香川県産は生育順調で、2月の出荷量は前年並の見込みです。

茨城県産は低温により生育が遅れていましたが、今後出荷される分については回復傾向にあり、2月の出荷量は前年並となる見込みです。

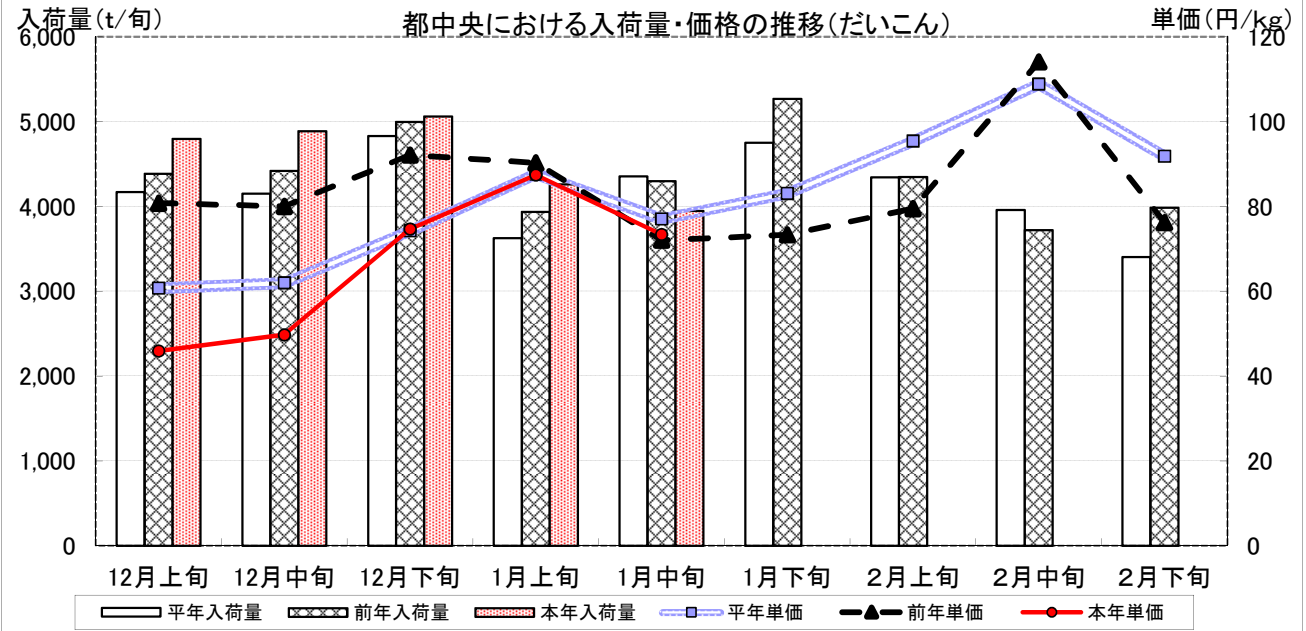


※: 市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

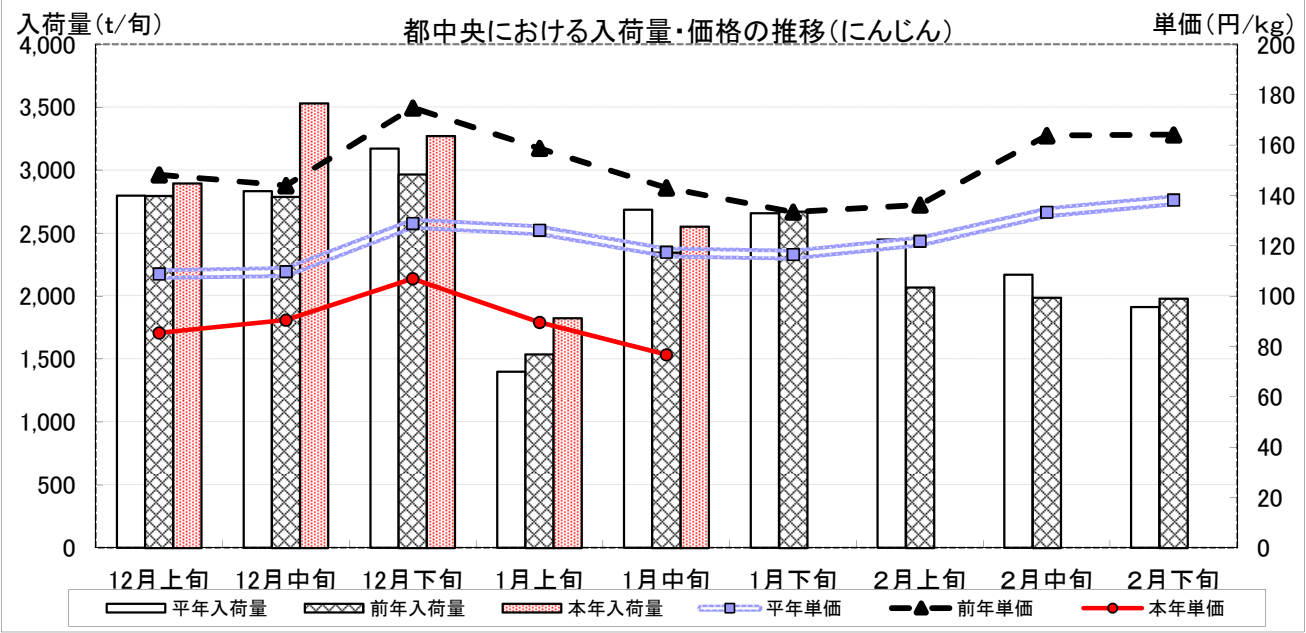
だいこん

入荷予測	12,700t(前年比105.3%、平年比108.5%)
価格予測	90円(前年比101.1%、平年比90.9%)
市況予測※	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;弱保合
主産地の概況	神奈川県;低温と乾燥で小ぶりとなっているが、概ね平年並の出荷量となっており、2月の出荷量は前年を上回り平年並の見込み。
	千葉県;2月から出荷予定のトンネル作型は生育良好で、2月の出荷量は前年並の見込み。



にんじん

入荷予測	7,300t(前年比120.9%、平年比111.8%)
価格予測	80円(前年比51.9%、平年比61.5%)
市況予測※	上旬;保合、中旬;保合、下旬;保合
主産地の概況	千葉県;生育良好で肥大が良く、秀品率も高い。2月の出荷量は前年を大幅に上回る見込み。
	埼玉県;生育は順調。2月の出荷量は少なかった前年をかなり上回る見込み。

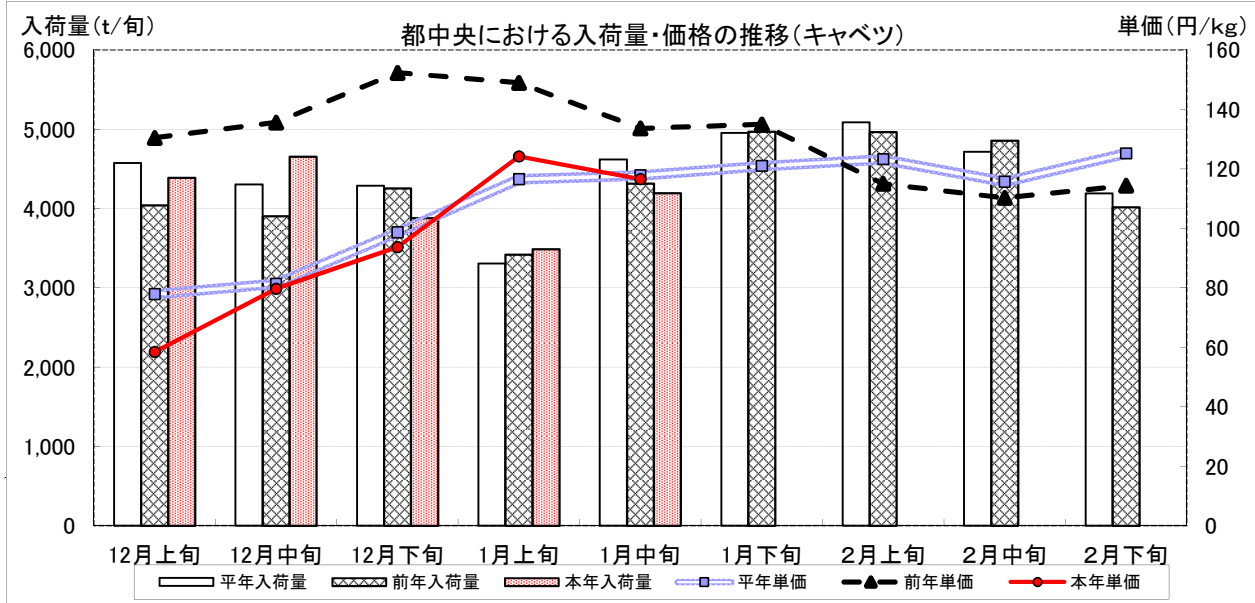


資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

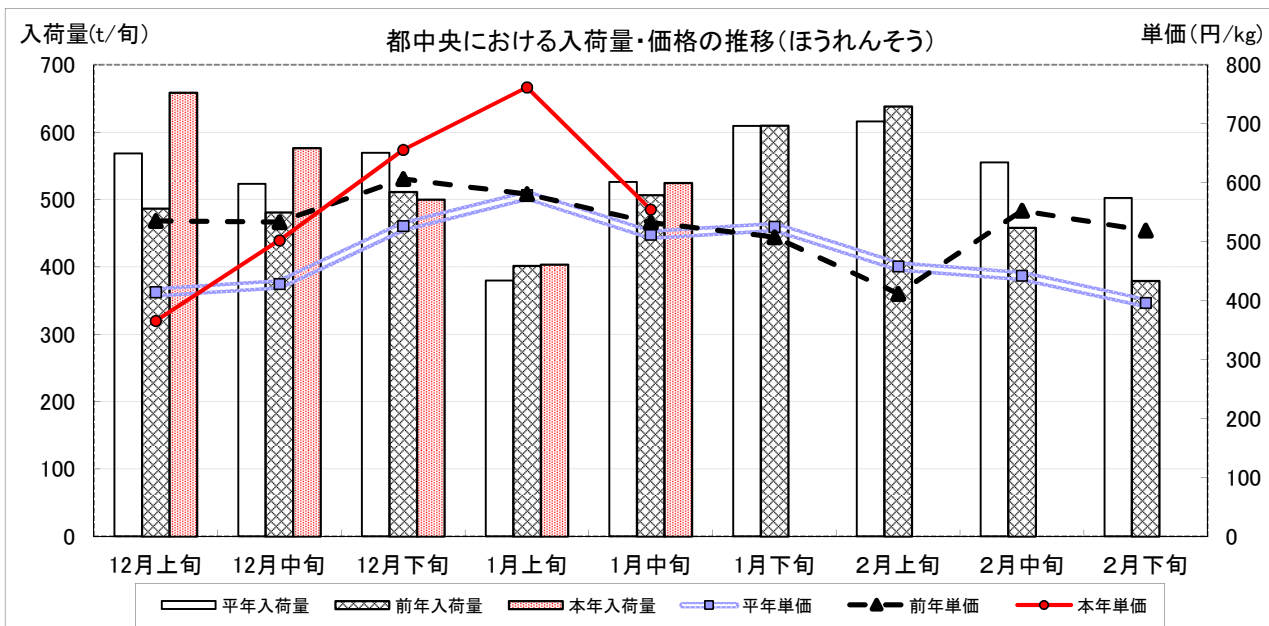
キャベツ類

入荷予測	13,800t(前年比99.7%、平年比98.6%)
価格予測	125円(前年比110.6%、平年比103.3%)
市況予測※	上旬:弱保合、中旬:保合、下旬:保合
主産地の概況	愛知県:10月の台風や低温の影響で小玉傾向となっている。2月後半から出荷量が増えるが、2月合計では少なかった前年並の見込み。
	千葉県:10月の台風により潮風害を受けたが、その後播種したものが出荷されてきている。2月の出荷量は多かった前年を下回り平年並の見込み。
	神奈川県:低温・乾燥の影響で小玉傾向となっている。2月の出荷量は前年並の見込み。



ほうれんそう

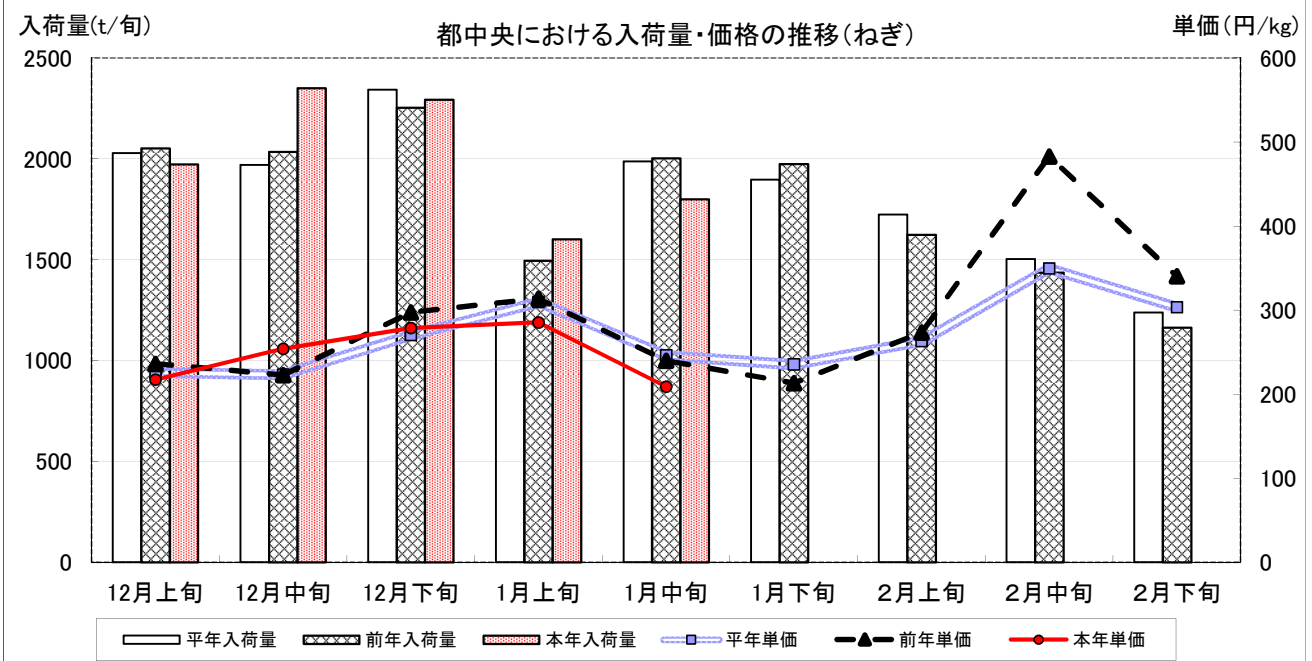
入荷予測	1,600t(前年比108.4%、平年比95.6%)
価格予測	420円(前年比87.0%、平年比96.8%)
市況予測※	上旬:保合、中旬:弱保合、下旬:弱保合
主産地の概況	群馬県:低温で生育は停滞気味。前年の雪害からの施設再建が遅れ、面積は平年より減少している。2月の出荷量は前年を上回るものの、平年をかなり下回る見込み。
	埼玉県:低温で生育が遅れている。2月の出荷量は少なかった前年並の見込み。
	茨城県:低温で生育が遅れているが、2月中旬以降出荷量が増え、2月の出荷量は少なかった前年を上回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。
 ※:市況予測の用語については、目次の「用語解説」を参照のこと

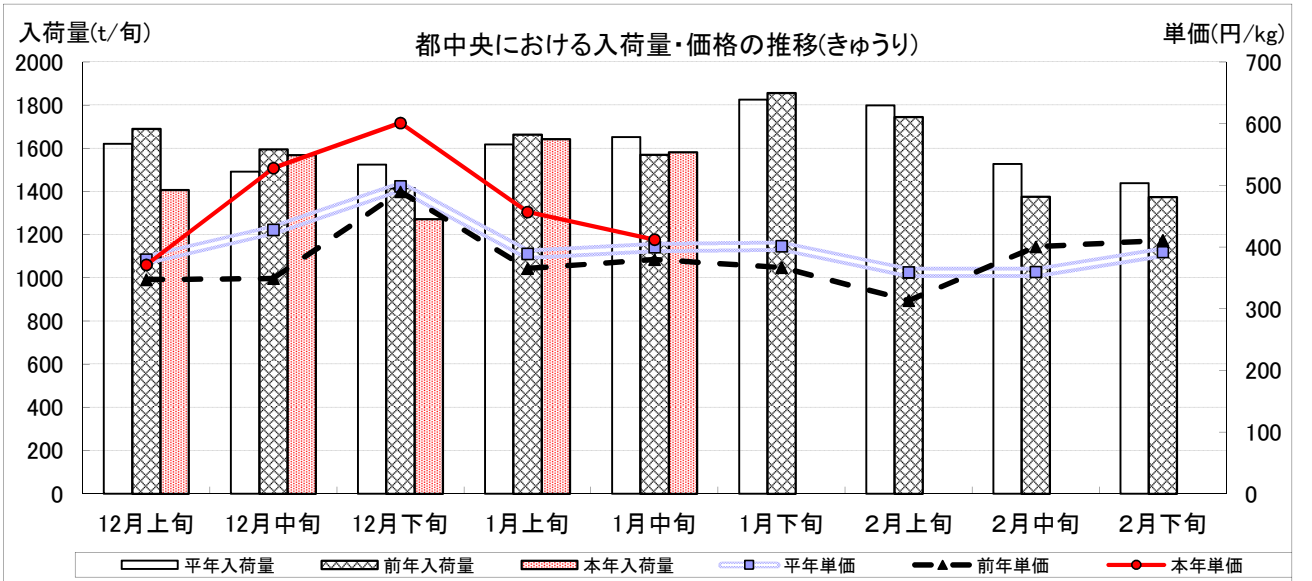
ねぎ

入荷予測	4,470t(前年比105.8%、平年比100.1%)
価格予測	250円(前年比68.9%、平年比82.2%)
市況予測※	上旬;強保合、中旬;保合、下旬;保合
主産地の概況	千葉県:生育は良好。2月の出荷量は前年並となる見込み。
	埼玉県:台風等の影響もなく、生育は良好。2月の出荷量は前年を上回り平年並の見込み。
	茨城県:一部で低温による葉の変色があるものの、生育は順調。出荷量は前年並の見込み。



きゅうり

入荷予測	4,500t(前年比100.1%、平年比94.5%)
価格予測	380円(前年比102.7%、平年比103.0%)
市況予測※	上旬;保合、中旬;弱保合、下旬;弱保合
主産地の概況	宮崎県:生育順調で着果状況も良い。2月下旬から植え替え時期に入り減少するが、2月の出荷量は前年並の見込み。
	千葉県:低温で樹勢が弱くなっていたが、回復傾向にある。2月の出荷量は前年を上回るものの、平年をやや下回る見込み
	茨城県:低温の影響で出荷量が少なくなっている。2月の出荷量は前年をやや下回る見込み。



資料は東京青果物情報センター速報値、平年値は5ヶ年平均値。

II 花き情報

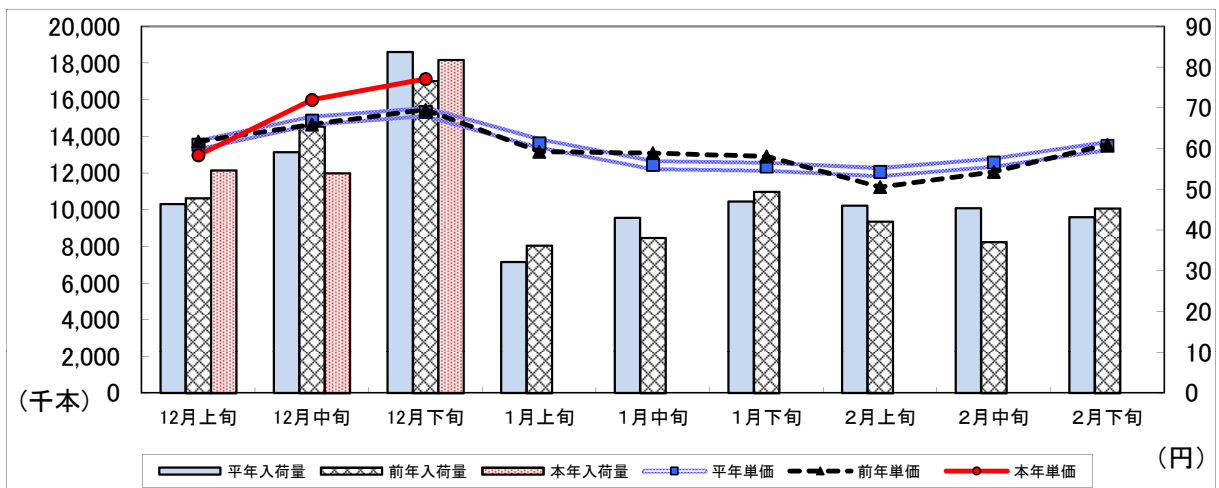
1 1月の経過（切花）

気温の低下により入荷量が少ない上、葬儀向けを中心とした業務需要からの引き合いが活発であったことから相場は堅調に推移した。

（1）販売経過（東京都中央卸売市場大田市場）

項目	経過
入荷量	気温の低下による生育停滞のため、入荷量は平年より減少した。
相場	入荷量が少ない中で葬儀向けを中心とした業務需要の引き合いが強く、相場は堅調に推移した。
品目等	葬儀需要の高まりを受けて、菊類やストック等で引き合いが強まった。

（2）入荷量と単価の経過〔株大田花き（切花）〕



（3）品目別経過

品目	経過	
ストック	大田花き	低温により主力の千葉産の入荷量が伸びない中で、年明け以降葬儀需要が高まり、相場は堅調に推移した。
	フラワーポート	業務向けの花材の入荷が少ない中、ストックについても前年より数量が少なく単価は高騰した。
輪菊	大田花き	12月からの品薄が継続しており、業務向けへの引き合いが強く、上位等級中心に堅調な取引となった。
	F A J	年末より続く高値相場に品薄が重なり、白・黄色ともに堅調な相場が続いた。

2 2月の見通し

品目	見通し	
ストック	大田花き	主力の千葉産は神戸、西岬を中心に徐々に増加してくるが、現状では大幅に増える見込みは無く、堅調な相場となる見込み。
	フラワーポート	千葉産のスタンダードが増加してくるが、台風の影響から露地物の一部で曲り、葉傷みが懸念される。
カーネーション	大田花き	国産は、低温や燃油高騰による加温の手控えにより生育の遅れていたものが、中旬以降にまとまって出荷となる見通し。
バラ	大田花き	フラワーバレンタイン需要により2週目で赤、濃いピンクの需要が高まる見通し。
	フラワーポート	ほぼ前年並みの入荷見込み。動きの悪い時期であるがフラワーバレンタインの需要に期待。

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

1. 青果物

単位：t、円/kg、%

品目	H26. 12月				累計 (H26. 4～12月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
野菜	26,927	171	104	87	230,167	174
だいこん	3,726	53	96	69	29,164	73
にんじん	2,082	82	132	56	15,646	108
はくさい	2,306	36	100	56	17,392	59
キャベツ	3,947	69	110	56	40,694	78
ねぎ	1,318	215	96	100	8,668	241
トマト	946	387	123	77	12,823	306
きゅうり	674	473	91	127	10,241	286
ばれいしょ	1,668	90	106	88	13,059	110
たまねぎ	1,884	88	111	65	16,643	109
レタス	915	247	103	80	11,487	169
果実	8,210	282	94	102	58,818	282
みかん	4,853	184	89	94	11,620	184
かき類	594	249	119	85	4,072	223
グレープフルーツ	94	234	71	125	1,903	159
なし類	44	372	56	124	5,813	277
ぶどう類	31	516	92	124	2,046	644
いちご類	321	1,740	104	106	1,503	1,082
すいか類	19	144	283	53	7,193	158
メロン類	68	601	61	168	3,416	364
バナナ	448	153	86	120	4,654	162
りんご	1,011	232	126	90	5,945	277
その他	326	319	87	122	2,440	187
青果物合計	35,463	198	101	91	291,425	196

2. 花き

単位：千本(鉢)、円/本(鉢)、%

品目	H26. 12月				累計 (H26. 4～12月)	
	数量	単価	前年比		数量	単価
			数量	単価		
切り花	3,289	67	101	115	26,156	53
きく	1,240	70	102	114	9,244	56
バラ	101	98	93	130	994	65
カーネーション	418	54	105	120	3,244	45
枝物	624	84	109	95	1,123	86
鉢物	135	165	108	87	1,234	118
その他	9	227	90	109	41	160
花き合計	4,057	73	102	108	28,554	57

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示す。
 ※「-」は、数値の発表がないことを示す。

やっちゃんば閑話

「花の消費拡大に向け、産地からの提案を進めよう」

花の消費の減退に歯止めがかからない。総務省の家計調査（H25）によると、切花の購入金額は、長期的に減少傾向にある。若年層ほど低く、30歳代では60歳代の4分の1以下で年間2千円程度にすぎない。

花の専門店が売り上げを減らす中、人通りが多く賑わう駅ナカや駅前の商業施設にあるAマーケットやHカダンなどのチェーン店は店舗を増やしている。店内をおしゃれに装飾し、若い女性客に花のある暮らしを提案している。

花き業界では、若い人があまり花を買わないので、団塊ジュニア層中心に花を身近に感じてもらおうと、「フラワーバレンタイン」という、男性が女性に花を贈る文化を浸透させる運動を進めている。この運動は、異業種（例：ワインなどの食品業）や地域と連携し、新たな顧客を広げる提案をしているのが特徴である。

このような中、大田市場花き棟2階の中央通路では、全国の産地等による花のPR活動が数多く開催されている。

年明け以降でも、スターチスを利用したアレンジメントコンテスト、別会場での商談会をPRするための県産花きの展示、オリンピックやバレンタインなどへの利用拡大を呼び掛けるための大掛かりなスプレーマムのアレンジなど、内容はさまざまである。



スプレーマムフェア（1月26日～30日）

特に、スプレーマムは仏花のイメージがあるが、花色の多彩さや花卉の繊細さなど、キクの新たな魅力を引き出した発想が見事だった。

本県も1月19日から23日まで、「ちばの花」展示会を開催した。

今回初めて、全国一の産地であり、最も産出額のある「ストック」の特別展示（県内産地合同でのストックの展示、ストックを使ったアレンジメントの提案）を行えたことは、一歩前進だと思う。（詳細は、P.14の首都圏掲示板に記載）

市場展示会も産地の品評会のように花瓶に活けて並べるだけでは、もはや時代遅れと感じる。

これからは、産地から小売店に花の活用を提案することが大切である。県産花きの使い方、その魅力と可能性を提案する取組を進めていきたい。

V 首都圏掲示板

【産地集合！千葉県産さつまいも合同試食宣伝会開催】

冬の寒さが本格化し、焼き芋需要の増加が見込まれる1月に、千葉県のさつまいもの食味の良さを実需者に伝えるため、1月20日(火)に東京都中央卸売市場大田市場において、「千葉県産さつまいも4JA合同試食宣伝会」を開催しました。



4JA（成田市、佐原、かとり、多古町）が参加し、朝の冷え切った市場内で、産地で準備した熱々の焼き芋や、販売促進資材を配布し、品質の良さを買参人や卸売業者に伝えました。



県園芸協会の大木部長からの挨拶では、産地が一体となったオール千葉体制で、良食味のさつまいもを提供していく意気込みを伝えました。



朝の冷え切った市場内での焼き芋配布は好評で、焼き芋をもらうための列ができました。

【大田市場初！アテモヤ試食会】

1月14日(水)、東京都中央卸売市場大田市場において、JAおきなわによる「沖縄県産アテモヤ試食会」が開催されました。JAおきなわでは昨年度からアテモヤの本格出荷を行っているということで、試食会は今回が初めて。まだ流通量の少ないアテモヤを味わおうと多くの流通関係者が集まりました。



試食会の開始前から流通関係者が集まり、リーフレットを興味深げに眺めていました。



「木になるアイスクリーム」のキャッチフレーズが入った化粧箱



試食はカットしたもの（左上）と、果肉をミキサーにかけたもの（右上）の2種類で、試食した流通関係者からは「思ったよりとても甘い！」「本当にアイスクリームみたいだ」と評価する声がありました。

【平成26年度「ちばの花」市場展示会開催】

これから3月の需要期に向けて出荷の最盛期を迎える県産花きを実需者にPRするために、1月19日(月)～23日(金)まで、東京都中央卸売市場大田・世田谷・北足立の3市場において、「ちばの花」市場展示会を開催しました。



展示会には県内24の産地、生産者より3市場で延べ138点の出展があり、このうち大田市場には最も多い94点が集まりました。



大田市場では県の特産であるストックをPRするためのコーナーを設置。県内の産地や育種家による合同展示や、実需者への利用拡大を呼びかけるためのアレンジ提案を行いました。



各市場で関係者や生産団体によるせり前PR活動を行い、買参人へ県産花きの利用を呼びかけました。



せり前PR活動終了後には代表者で各卸売会社を訪問し、「ちばの花」の振興に向けた意見交換を行いました。